

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-530234 (P2004-530234A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-038
 【出願番号】特願 2003-505556 (P2003-505556)
 【国際特許分類】

G 0 8 C 23/04 (2006.01)

G 0 1 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 C 23/00 A

G 0 1 B 21/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 14 日 (2005.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

信号を生成する信号生成手段と、
 前記信号生成手段によって生成された信号を光パルスの形で受信機モジュールに伝送する信号伝送手段と
 を備えた位置判定装置用プローブにおいて、
 パルス幅変調器が、前記信号で動作し細かく切られた出力を生成するように設けられたことを特徴とするプローブ。

【請求項 2】

前記パルス幅変調器は、各パルスの継続時間を減少することを特徴とする請求項 1 に記載のプローブ。

【請求項 3】

前記各パルスの継続時間は、前記パルス幅変調器の継続時間に等しく減少されることを特徴とする請求項 2 に記載のプローブ。

【請求項 4】

前記信号生成手段は、汎用同期 / 非同期受信機送信機を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のプローブ。

【請求項 5】

前記パルス幅変調器は、汎用同期 / 非同期受信機送信機のタイミングを制御することを特徴とする請求項 4 に記載のプローブ。

【請求項 6】

前記プローブは、電池駆動であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のプローブ。

【請求項 7】

前記光パルスは、発光ダイオードによって生成されることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のプローブ。